

## 指定管理者からの令和5年度事業報告概要

施設名	岡山県南部健康づくりセンター
施設所在地	岡山県岡山市北区平田408-1

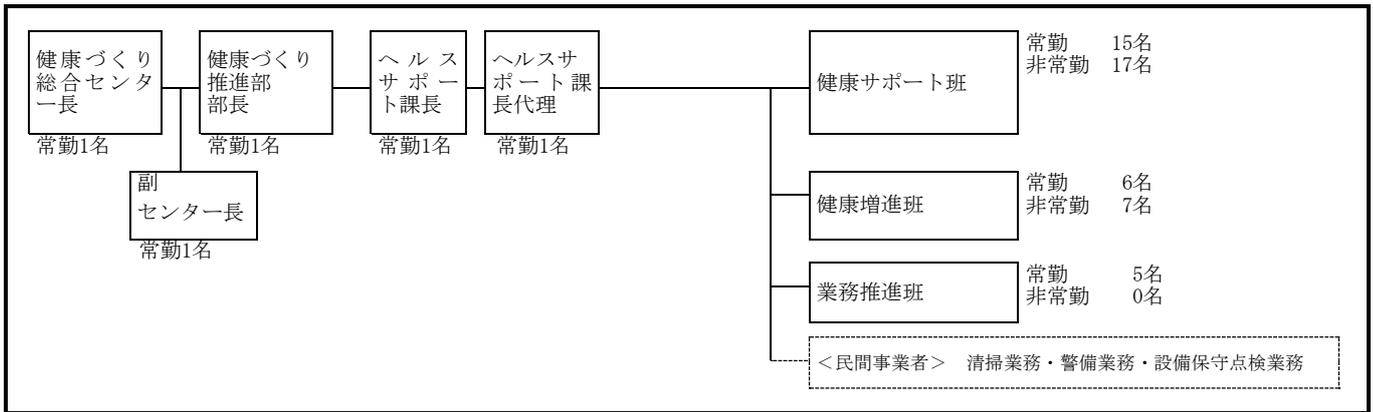
### 【指定管理者の概要】

名称	公益財団法人 岡山県健康づくり財団	代表者	理事長 松山 正春
所在地	岡山県岡山市北区平田408-1		

### 【指定管理の概要】

指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日	報告期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岡山県健康づくりセンター条例第2条に規定する業務の実施に関する事</li> <li>・センターの施設及び設備の利用等の許可に関する事</li> <li>・センターの施設及び設備の維持管理に関する事</li> </ul>		

### 【管理体制の状況】



### 【利用等の許可の状況】

(単位：件)

		ヘルスチェック	施設自由利用	施設貸出	その他健康増進活動	人間ドック等	合計
許可件数	5年度	593	8,440	79	1,724	11,493	22,329
	4年度	601	9,182	205	1,428	11,330	22,746
	増減	△8	△742	△126	296	163	△417

### 【維持管理の業務の実施の状況】

項目	内容
施設の維持管理業務	・建物保守管理業務 ・設備保守管理業務 ・施設清掃業務 ・植栽管理業務 ・警備業務
施設等利用許可業務	・許可件数：22,329件 [内訳] ヘルスチェック (593件) 施設自由利用 (8,440件) 施設貸出 (79件) その他健康増進活動 (1,724件) 人間ドック (10,288件) 婦人科検診等 (93件) 機器開放 (1,112件)
自主企画事業	・年長児から小学6年生を対象として定期的なかけっこ教室を96回開催 ・難病相談・支援センターの患者交流会に管理栄養士、運動指導員を派遣して講演を4回実施

### 【利用料金の収入及び減免の状況等】

(単位：円、件)

		ヘルスチェック	施設自由利用	施設貸出	その他健康増進活動	人間ドック等	合計
収入額		720,870	48,139,510	2,067,090	4,523,805	316,362,444	371,813,719
利用件数		593	76,755	79	1,724	11,493	90,644
減免額		2,238,500	2,378,030	1,611,030	9,860	4,661,370	10,898,790
減免理由	障害者の施設利用、健康づくりセンターとの共同研究利用等						

## 指定管理者からの令和5年度事業報告概要

### 【管理に係る収支の状況】

(単位：円)

		5年度	対前年度増減額	4年度	備考
<b>収入額 A</b>		488,991,683	5,079,606	483,912,077	5年度収入額 その他の主なもの ・エネルギー価格高騰等に伴う支援交付金 5,029,094円 ・積立金取崩収入 3,904,560円 ・寄付金収入 2,636,975円  5年度支出額 その他の主なもの ・税金 43,394,089円
内 訳	指定管理料	105,511,180	△1,987,715	107,498,895	
	利用料金収入	371,813,719	116,856	371,696,863	
	事業収入	96,155	△70,604	166,759	
	その他	11,570,629	7,021,069	4,549,560	
<b>支出額 B</b>		488,991,683	5,079,606	483,912,077	
内 訳	人件費	213,967,338	△8,555,873	222,523,211	
	管理運営費	105,372,996	8,311,100	97,061,896	
	事業費	80,925,736	△4,980,105	85,905,841	
	その他	88,725,613	10,304,484	78,421,129	
<b>収支額 A-B</b>		0	0	0	
県への納入金		—	—	—	
<b>実質的な県負担額</b>		105,511,180	3,541,180	101,970,000	

### 【特記事項（管理運営業務の実施状況の点検結果）】

点検項目	区分	特記事項（評価すべき点・改善すべき点）
管理運営状況	①適切な施設管理の履行	B 適切な施設管理が行われていた。
	②法令等の遵守状況	B 法令等について遵守されていた。
	③安全性の確保	B 危機管理についての研修を行うなど、利用者の安全性を確保した管理が行われていた。
	④財産の適切な管理	B 適切な財産管理が行われていた。
導入効果	① 利用状況	B 令和5年度から開館時間の短縮や休館日の変更を行ったが、健康増進施設の利用件数は前年度並みであった。 【利用件数】R5：90,644件 ← R4：91,580件
	② 収支状況	B 収入は、指定管理料と事業収入が減少したものの、利用料金収入とその他の増加により、前年度より増加した。支出は、人件費と事業費が減少したものの、管理運営費とその他の増加により、前年度より増加した。収支額は、前年度同額となった。
	③ サービス向上	B コロナ禍で中止していた健康フェスタの開催や健康ポイント事業への参加などを行った。また、人間ドックでは繁忙期の月曜日（休日）を6日開館して、受診者を受け入れた。
<b>管理運営業務全般</b>	B	適切に管理運営業務が実施されるとともに、利用状況は前年度並みであった。

※「区分」欄は、点検結果の区分。区分の内容は次のとおり

A：予定していた業務水準を上回った。 B：予定していた業務水準を概ね実施した。

C：予定していた業務水準の一部が実施できなかった。 D：予定していた業務水準を下回った。